参考様式A5（自己評価等関係）

公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | ミューズポコ伊勢 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年　1月　13日 | ～ | 2026年　2月　3日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 14 | （回答者数） | 8 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年　1月　13日 | ～ | 2026年　2月　3日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 6 | （回答者数） | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年　2月　25日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 本格的な楽器を使ったり、音楽の活動を通したりして、子ども自身が自由に表現し、コミュニケーション力を育むことができる。 | ・一緒に子どもが表現したいことをできるように探っていく。<br>・村井楽器のレッスン室をお借りして、ピアノやエレクトーン、ドラムなどの楽器に自由に触れる機会を作っている。 | ・さまざまな音楽家とセッションする場を広げ、音楽を通したコミュニケーションを図るように努めていく。 |
| 2 | 親子で利用でき、個別療育・集団療育を選ぶことができる。 | ・子どもの状況に応じて個別・集団、もしくは両方を選べるようにしている。 | ・療育時間枠の増設や、時間帯の変更など利用しやすいように適宜変更していく。 |
| 3 | 児発と放デイの交流イベントや『ライブスペース勢の！』に参加して交流することができる。 | ・人前でも力を発揮できるように支援している。<br>・さまざまなパフォーマンスに触れられるようにする。 | ・職員自身も子どもと一緒にミュージシャンシップを発揮できるようにしていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 気軽に相談したり、相談日の設定ができることを周知されていない | 療育後に話せる時間が少ない、また他の保護者がいて話すのが難しい。 | 療育後に気軽に相談できることや、改めて相談日を設定できる事を皆にお知らせしていく。 |
| 2 | 保護者の都合が合わず、療育が受けられない時がある。 | 親子で一緒に療育をするため。 | 放デイへ移行する年長児については、移行前の2-3月に限り、児童のみ放デイとの療育を実施を継続していく。 |
| 3 | 音楽が苦手だったり、興味がない子どもに利用してもらいにくい。 | 正式名称から「音楽特化型」を外しているが、基本的には音楽活動が入っているため。 | さまざまな活動を展開する中で、音楽が自然に感じられるよう、療育を進めていく。 |